

明日へ続く希望

南雲明彦

ディスレクシア

— 共に向き合い、そして、生きる。



講演ご依頼先



システムブレイン

Tel : 06-6444-7878

<http://www.sbrain.co.jp/>

■ 講演テーマ「ボク、学習障がいと生きてます」

【地域活性・環境】共に向き合い、希望で生きる

【教育】家族と次男の509日の闘い

【健康・福祉】心のユニバーサルデザインを目指して

【人権・男女共同参画】気づきから、理解へ

■ 「システムブレイン」南雲明彦専用ページ

<http://www.sbrain.co.jp/keyperson/K-7927.htm>

取材・執筆ご依頼先



川崎特区
アットマーク
明蓬館高等学校
Atmark Meihoukan High School

Tel : 03-3449-7904

<http://at-mhk.jp/>

一人でも多くの人達に「ディスレクシア」のことを知って頂くためには、様々な媒体を通じて発信していく必要があります。積極的にご依頼はお引き受けさせていただきますので、何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

■ アットマーク明蓬館高等学校 南雲明彦特設ページ

<http://www.at-mhk.jp/lp06/>

テレビ出演・マスコミ活動など

「ハートをつなごう 発達障害第6弾」(NHK教育テレビ)

「先天性障害 ディスレクシアの悩める青年」(毎日新聞)

「学習障害だと知らなかった僕」(PandA-J 巻頭インタビュー記事)

「学習障害の苦しみ代弁」(新潟日報新聞)

「発達障害とともに」(朝日新聞)

「教育ルネサンス」(読売新聞)

「わかもん！」(共同通信)



みんなちがうこと。それを認め合えること。

そんな共通認識が社会常識となる社会、それを日本社会のなかに育てられたら、というの、僕永遠に変わらない願ひです。

ミラクル・オブ・ライフ。

一人の心を動かし、生きることの凄さを伝える生き方

苦しみ、悩んでいる人達の「希望の光」になります。



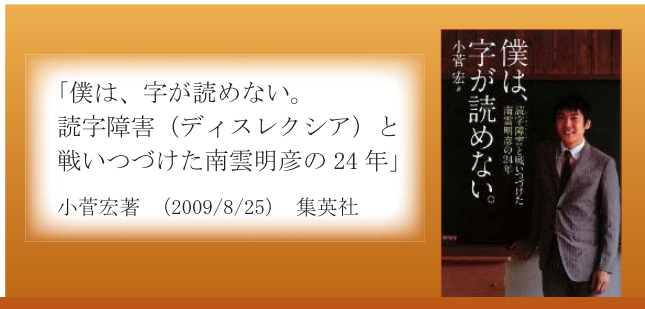
Profile

ながも あきひこ
南雲 明彦

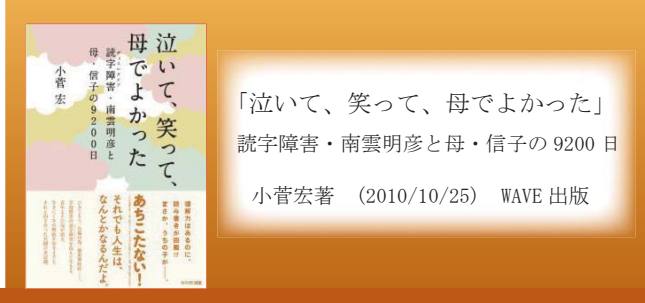
21歳になるまで「理解力はある程度あるが、読み書きがうまく出来ない」という困難に苦しみ、引きこもりや自傷行為、強迫性障害による入退院を繰り返す。自身がLD（学習障害）のディスレクシア（読字障害）であることを知り、ようやく苦しみから解放される。「LDは自分の中の宝物」と断言し、年間100回の講演や執筆等、啓発活動に尽力中。

現在は、アットマーク明蓬館高等学校の共育コーディネーターとして、所属。

■ 書籍



「僕は、字が読めない。
読字障害（ディスレクシア）と
戦いつづけた南雲明彦の24年」
小菅宏著（2009/8/25） 集英社



「泣いて、笑って、母でよかった」
読字障害・南雲明彦と母・信子の9200日
小菅宏著（2010/10/25） WAVE出版

■ 南雲明彦ブログ

「僕がボクである為に
～ 読字障害（ディスレクシア）と
笑顔の共生日記 ～」

<http://ameblo.jp/nagumo-akihiko/>



■ 「ケアさぼ」南雲明彦連載ページ

<http://www.caresapo.jp/fukushi/blog/nagumo/>

Dyslexia 読字障害

ディスレクシア

知的な遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの能力のうち特定のものができないのが「学習障害」。中枢神経に何らかの機能障害があると推定され、このうち特に読み書きに困難を伴う場合が「ディスレクシア」。

ギリシア語の「できない」(dys)と「読む」(lexia)に由来。耳から入る情報、目から入る情報などを正確に自動的にすばやく処理できないことに起因。



(出展元：財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 『「読める」ってたのしい。』より、抜粋)

南雲の場合

- 「書く」 ○ 黒板を写すのに時間がかかって 授業についていくのが難しい
- 習字などで、紙からはみだしたり、バランスが取れないため、文字が認識しにくい
- 「読む」 ○ 教科書を読むのが著しく遅く、行を読み飛ばしたり、漢字を読み飛ばしたりする
- 文字を追うことに精一杯で、文章読解ができず、ある程度理解はできていても、テスト時間内に終わらない
- 「聞く」 ○ 指示をされても、聞き取ることが難しく、集団行動がうまくできない
- 連続で複数のことを覚えていることができず、聞き取りミスが多くなり、叱責される回数が増える

ディスレクシアの特徴は、1人1人それぞれ違います。

「読み書き」について

- 長い文章を正確に速く読むことが困難、音読が遅い
- 文中に出てきた語句や行を抜かしたり、繰り返し読みだりする
- 逆さ読みをする（「36」→「63」など）
- 字の形を混同する（「はし」→「ほし」など）
- 字の置き換えをする（「おこと」→「おとこ」など）
- 勝手読みをする（「クリニック」→「クリーニング」など）
- 一字一句は読めても、文意を読み取るのが難しい
- 字の形や大きさが整っていなかったり、字をまっすぐに書くことができない
- 漢字の細かい部分を書き間違える
- 鏡文字を書く
- 意味の似た漢字を間違える（「作る」→「使う」など）
- 単語で覚えている漢字を間違える
(学校の「学」を書こうとして「校」を書くなど)

「聞くこと」について

- 似た音を聞き誤る（「行った」→「知った」、「橋」→「足」など）
- 個別に言われると聞き取れるが、集団の場面では難しい
- 一生懸命聞いても、内容を理解することが難しい

その他

- 左右をよく間違える
- 視覚的短期記憶が悪い（見てもすぐ忘れる）
- 聴覚的短期記憶が悪い（聞いてもすぐ忘れる）
- モノの名称などがすぐに出てこない
- 計算はできるのに図形や文章問題が苦手
- 整理整頓が苦手 ○ 忘れ物が多い ○ 手先が不器用

(出展元：財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 『「読める」ってたのしい。』より、抜粋)

アメリカでは人口の10%が、日本では4.5%がディスレクシアとも言われています。

著名人では、トム・クルーズ、ウーピー・ゴールドバーグがディスレクシアであることを公にしています。その他、アインシュタイン、エジソン、ガウディ、ピカソ、ダ・ヴィンチ、ディズニーなどもディスレクシアだったと言われています。